

しなののうた

青年がキャンバス持ちて描く山墨色おおく春まだ遠し



杉田小百合

しなののうた

公園に遊ぶは鳩と鴉のみ自由自在に闊歩しており

杉田小百合



しなののうた

底冷えのする朝布団抜け出せず起きだし見れば陽は高くあり



杉田小百合

しなののうた

飄々と今日も一日無事過ぎぬ明日も行かむか飄々として

杉田小百合



しなののうた

かあかあと一羽の鴉飛び立てば続けて飛びぬ対の鴉か



杉田小百合